

第2次エコオフィス計画達成状況

日時 平成29年7月21日 午後2時

場所 企業合同庁舎 大会議室

1. 省エネルギーの推進

温室効果ガス総排出量の削減

～重点的な取り組み～

電気の有効利用
及び
電気使用量の削減

燃料の有効利用
及び
燃料使用量の削減

取り組み方針

- ・ 数値目標を設定し、重点的に取り組む
- ・ ソフト面を中心に取り組む

2. その他の取組の推進

- 水資源の有効利用及び水使用量の削減
- 紙資源の有効利用及び紙使用量の削減
- 廃棄物の抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 職員の意識啓発

省エネルギーの推進

温室効果ガス総排出量の削減

平成22年度比で1.3%削減

～重点的な取り組み～

電気使用量の削減

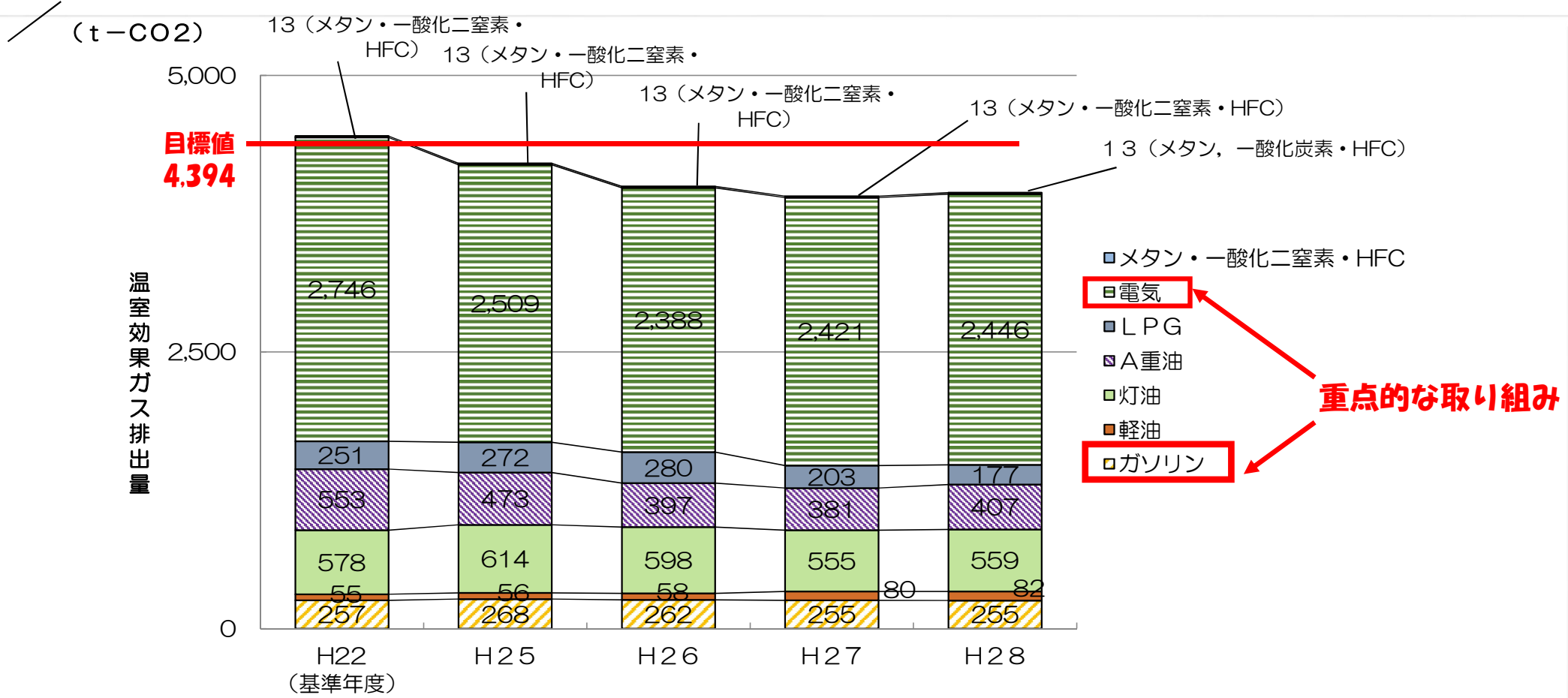
平成22年度比で1.5%削減

ガolin使用量の削減

平成22年度比で5%削減

温室効果ガス総排出量の削減

各年度の温室効果ガス総排出量

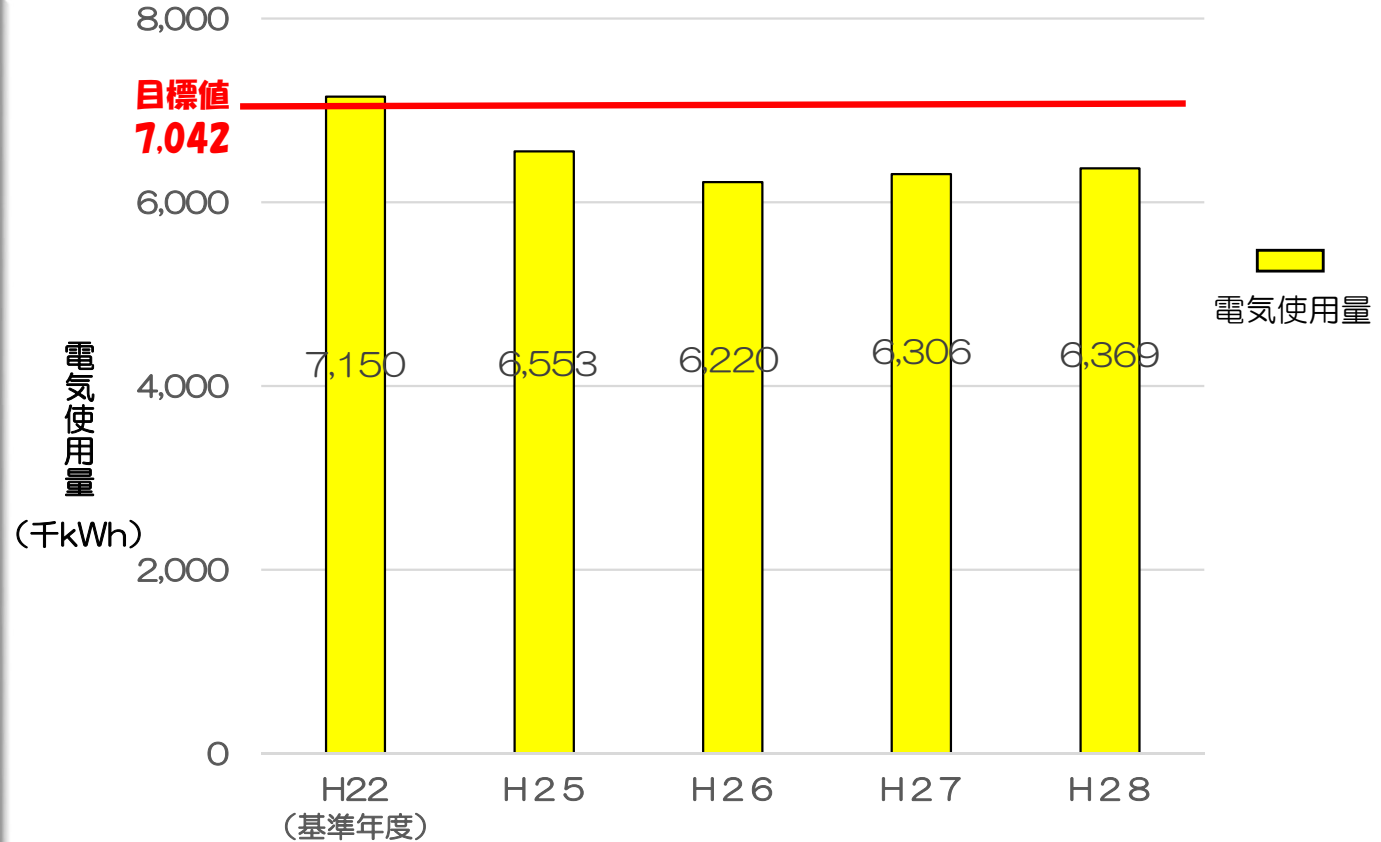


項目	平成22年度 (基準年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	4,452	4,205	3,996	3,908	3,939	4,394
削減率		-5.5%	-10.2%	-12.2%	-11.5%	-1.3%
目標達成		○	○	○	○	

平成25年度から平成28年度にかけて、目標を達成していた。

電気使用量の削減

各年度の電気使用量



項目	電気使用量 (千kWh)	削減率 (%)	目標達成
平成22年度 (基準年度)	7,150		
平成25年度	6,533	-8.6	○
平成26年度	6,220	-13.0	○
平成27年度	6,306	-11.8	○
平成28年度	6,369	-10.9	○
目標	7,042	-1.5	

平成25年度から平成28年度にかけて、目標を達成していた。

～電気使用量の増減の主な要因～

◎対象施設の変化

- 平成26年度から各コミュニティセンターが地域に移管され、計画の対象外となった。
- 平成27年度から津波監視カメラや旧サイエンスラボトリが対象施設として追加された。

◎職員による節電の取り組み

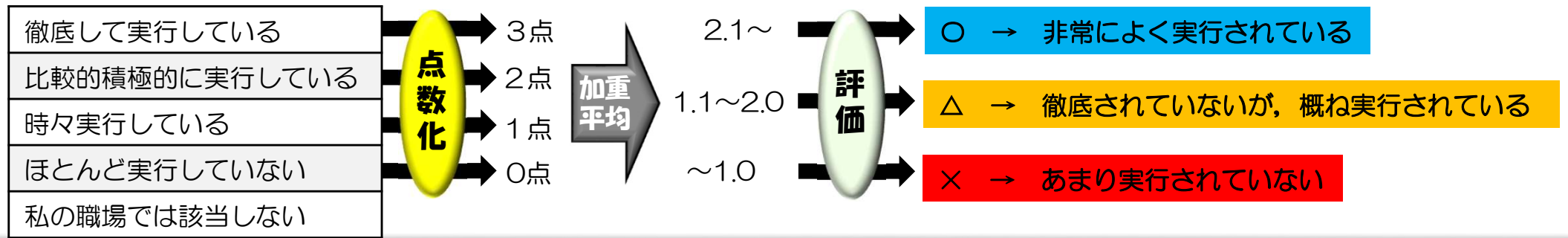
電気使用量の削減

～全職員の計画上の取り組みに関する意識調査～

取り組み内容	評価			
	H25	H26	H27	H28
パソコン及びプリンターは、退庁時や外出、会議等で長時間使用しない場合には電源を切りましたか。	○	○	○	○
パソコンは、業務に支障がない限り省電力モードで使用し、昼休みはスリープまたはスタンバイ状態にしましたか。	○	○	△	△
昼休みや夜間残業時等、窓口業務を除き不要な照明は消灯し、日中についても執務や安全衛生上支障がない場合は消灯しましたか。	○	○	○	○
エアコンの温度設定は、夏季28℃、冬季20℃を目安としましたか。	○	○	○	○
夏季におけるクールビズ、冬季におけるウォームビズを推進しましたか。	○	○	○	○
季節に応じてカーテンやブラインドを活用し、冷暖房の効率上昇に努めましたか。	○	○	○	○
毎週水曜日はノー残業デーとし、速やかな退庁に努めましたか。	△	△	△	-
週に1回程度は、ノー残業デーとし、速やかな退庁に努めましたか。	-	-	-	△
エレベーターの利用は極力自粛し、階段を利用しましたか。	○	○	○	○

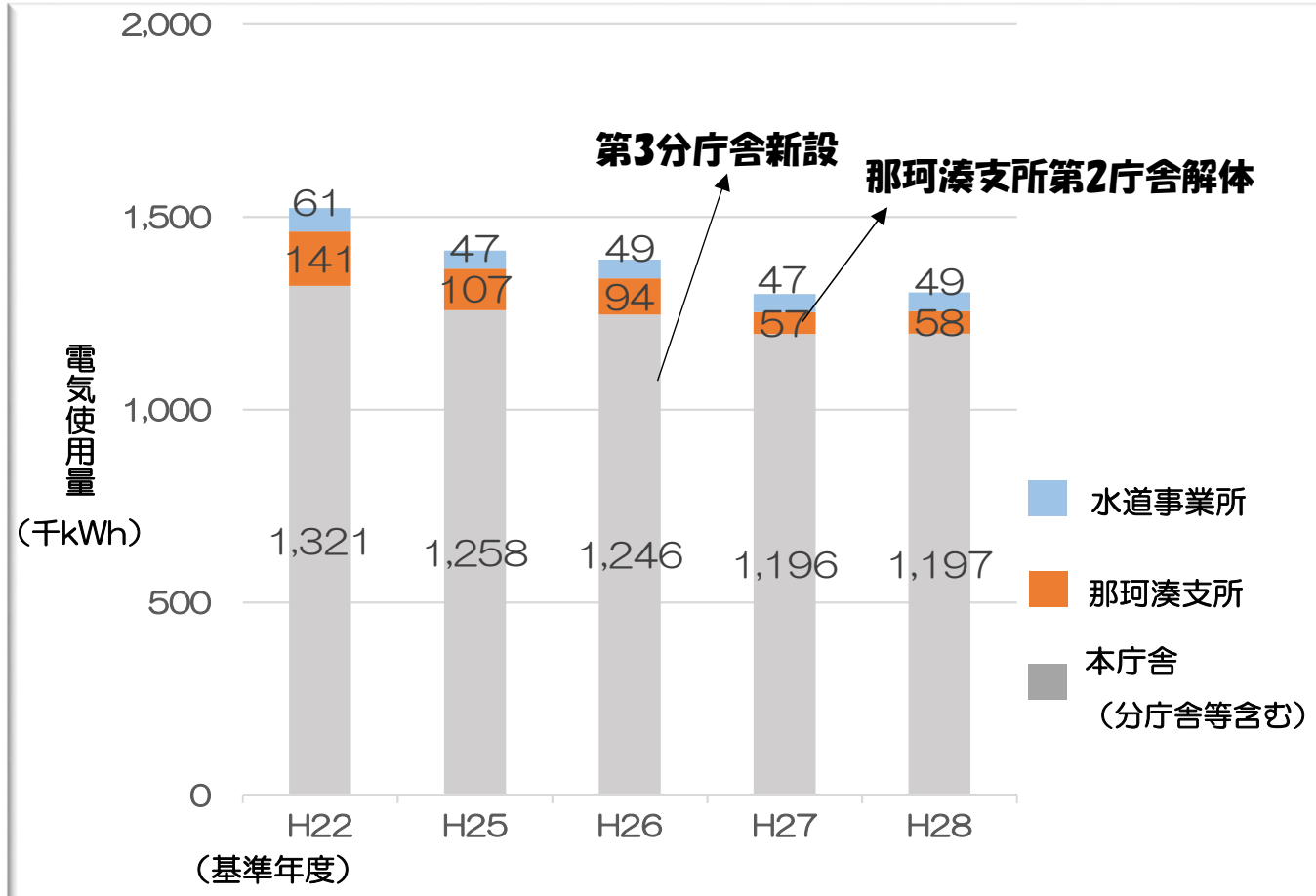
～評価方法～

各職場の温暖化対策推進員に、職場における取組実施状況について、4段階で評価してもらった。



電気使用量の削減

職員が多くいる施設(本庁舎, 那珂湊支所, 水道事業所)の電気使用量に絞ると…



項目	電気使用量(千kWh)			
	本庁舎	那珂湊支所	水道事業所	合計
平成22年度 (基準年度)	1,321	141	61	1,523
平成25年度	1,258	107	47	1,412
平成26年度	1,246	94	49	1,389
平成27年度	1,196	57	47	1,300
平成28年度	1,197	58	49	1,304

- 平成27年度までは、電気使用量が減少した。→職員による節電の取り組みによるものと考えられる。
- 平成27年度以降は、横ばいであった。(下げ止まり傾向)

～特定の課の計画上の取り組みに関する意識調査～

取り組み内容	評価			
	H25	H26	H27	H28
パソコンやプリンター、複合機等の集中管理を徹底し、台数の見直しを行いましたか。	△	△	○	○
施設の新設・改修にあたっては、太陽光発電システムの導入等に努めましたか。	×	×	×	×
施設の新設・改修にあたっては、LED照明を導入しましたか。	×	×	×	×
施設の新設・改修にあたっては、複層ガラス等を導入し、断熱性の向上に努めましたか。	×	×	×	×
コージェネレーションシステムや深夜電力の活用等、エネルギー利用の合理化に努めましたか。	×	×	×	×
グリーンカーテンを推進しましたか。	△	×	×	×
安全上支障がない場合は、廊下・階段等の照明は消灯しましたか。	○	○	○	○
照明機器及び空調機器については、定期的な点検や整備を実施し、適切な維持・管理に努めましたか。	○	○	○	○

ハード面
ソフト面

～参考～

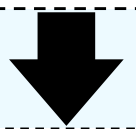
ハード面の取り組み

- ・ 第2分庁舎のエアコン更新（平成28年度）
- ・ 本庁舎のエレベーター更新（平成28年度）
- ・ 第3分庁舎に太陽光発電設備設置（平成26年度）

～5年間の取り組み評価～

ソフト面

意識調査の結果、意識は高かった。



電気使用量は、目標を達成しているが、下げ止まり傾向にある。

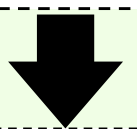


第3次エコオフィス計画に向けて

現在の取り組みを継続するとともに、より効果的な取り組みを検討する。

ハード面

意識調査の結果、意識は低かったが、設備の更新等の取り組みはあった。



電気使用量は、目標を達成しているが、下げ止まり傾向にある。

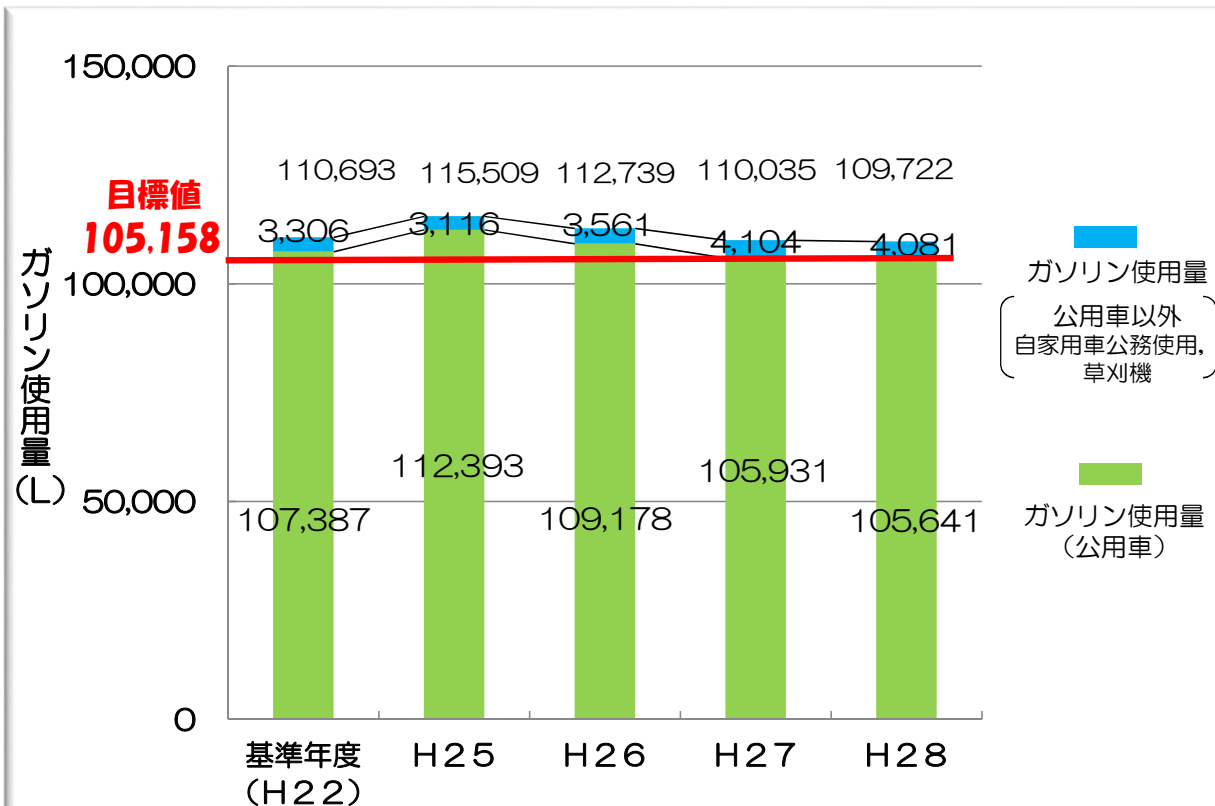


第3次エコオフィス計画に向けて

環境を意識した取り組みを検討する。

ガソリン使用量の削減

各年度のガソリン使用量



項目	ガソリン使用量(L)			削減率 (%)	目標達成
	公用車	公用車以外	計		
平成22年度 (基準年度)	107,387	3,306	110,693	—	/
平成25年度	112,393	3,116	115,509	+4.4	×
平成26年度	109,178	3,561	112,739	+1.8	×
平成27年度	105,931	4,104	110,035	-0.6	×
平成28年度	105,641	4,081	109,722	-0.9	×
目標	—	—	105,158	-5.0	/

平成25年度から平成28年度にかけて、目標を達成できなかったが、減少傾向にある。

～ガソリン使用量の減少の主な要因～

ガソリン使用量の9割以上を占める公用車のガソリン使用量が、減少傾向にある。

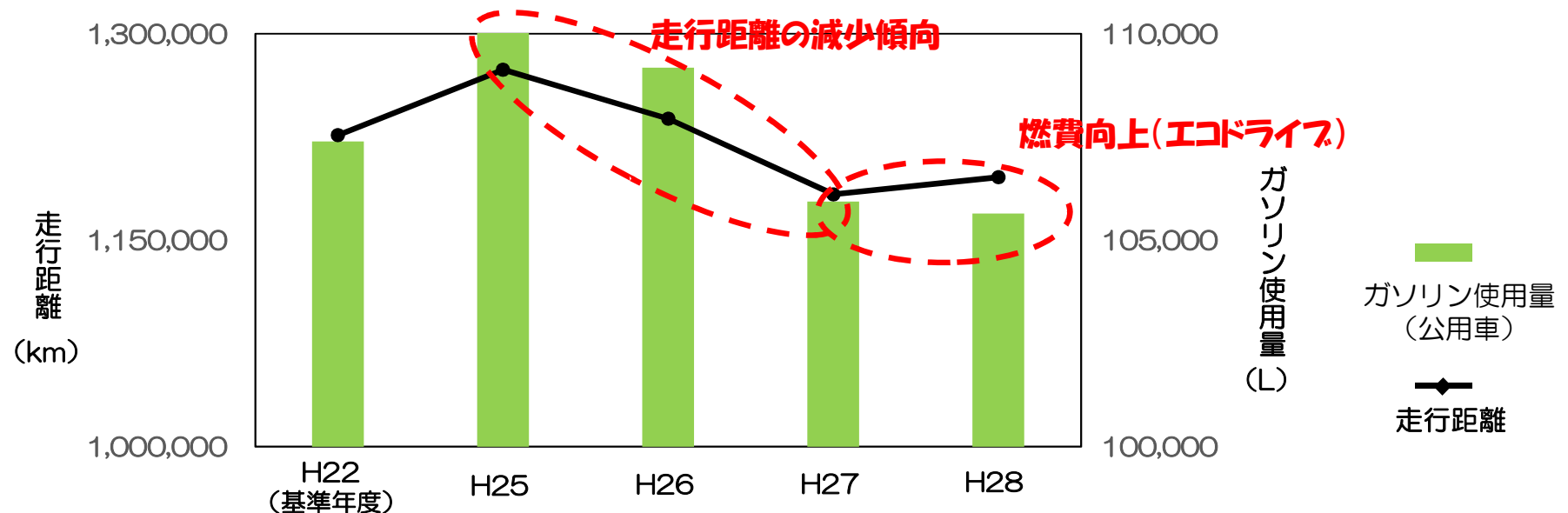
ガソリン使用量の削減

～全職員の計画上の取り組みに関する意識調査～

取り組み内容	評価			
	H25	H26	H27	H28
公用車の運転にあたっては、エコドライブを徹底しましたか。	○	○	○	○
給油の際等、定期的に公用車の空気圧の確認を行いましたか。	-	-	-	△
公用車の使用にあたっては、低燃費車を優先的に使用しましたか。	△	△	△	-
出張、移動の際は、公共交通機関の利用や相乗りするなどして公用車の使用抑制に努めましたか。	△	△	△	-
長距離の出張、移動の際は、公共交通機関の利用や低燃費車の使用に努めましたか。	-	-	-	○

ガソリン使用量の削減

公用車のガソリン使用量と走行距離



項目	平成22年度(基準年)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ガソリン使用量(公用車) (L)	107,387	112,393	109,178	105,931	105,641
走行距離 (km)	1,226,337	1,273,892	1,238,324	1,183,395	1,195,848
燃費 (km/L)	11.4	11.3	11.3	11.2	11.3
公用車台数 (台)	200	212	209	213	207

～ガソリン使用量(公用車)減少の主な要因～

◎平成25年度から平成27年度にかけて公用車の走行距離が減少した。

→**エコドライブ**や長距離時における公共交通機関の使用が実行されていたため。

◎平成28年度は、前年度に比べ、走行距離が伸びているが、ガソリン使用量は減少した。

→**エコドライブ**により、燃費が向上したため。

～特定の課の計画上の取り組みに関する意識調査～

取り組み内容	評価			
	H25	H26	H27	H28
公用車の新規導入・更新にあたっては、環境への負荷の少ない電気自動車やハイブリット自動車などの次世代自動車の導入に努めましたか。	×	×	×	×
ボイラー等エネルギー供給設備については、定期的な点検や整備を実施し、適切な維持・管理に努めましたか。	○	○	○	○

～参考～

ハード面の取り組み

- ハイブリット車導入（平成25年度）
- ハイブリット車導入（平成29年度）

～5年間の取り組み評価～

ソフト面

意識調査の結果、
エコドライブ、長距離時の公共交通機関・低燃費車の利用は、意識が高かった。

ハード面

意識調査の結果、
電気自動車等の導入は、意識が低かった。

ガソリン使用量は、目標を達成していないが、減少傾向にある。

第3次エコオフィス計画に向けて

ガソリン使用量の9割以上を占める公用車の燃費向上や低燃費車導入を推進する

エコドライブの励行を継続するとともに、
更なる燃費向上のための取り組みを検討する。

環境を意識した低燃費車導入の取り組み
を検討する。